

**生物化学的測定研究会 第23回学術集会プログラム**  
**「各種レポーター遺伝子アッセイ法の取り組み・応用」**

レポーター遺伝子アッセイはシスまたはトランス作用因子による遺伝子発現調節の研究、または、細胞シグナル伝達経路の活性測定に欠かせない手法です。具体的には、ホルモンなどの生理活性物質の働きを標的遺伝子の活性化を指標として検出する方法であり、実用化されたものとして、ダイオキシン類検出系、内分泌かく乱物質検出系などが存在します。本学術集会では、アカデミアから本法に関する基礎研究、技術を活用した調査、応用研究に関して、また企業側から国際標準化活動ならびに新規検出技術開発に関して幅広く六名の講師をお招きし、最新の話題をご提供いただきます。

■期日：2018年（平成30年）6月8日（金） 13:00～17:00

■場所：東京工業大学田町キャンパス・イノベーションセンター（CIC）2階多目的室  
 (〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6)

■プログラム(予定)	
総会	13:00～13:20
開会の挨拶 学術集会長 上田 宏（東京工業大学 教授）	13:20～13:25
講演.1	13:25～14:05
ベトナム北部の都市および廃棄物処理地域から採取したダストおよび母乳試料中 Bio-TEQ とその毒性同定評価  高橋 真（愛媛大学大学院農学研究科 教授）	
講演.2	14:05～14:45
（仮題）野生生物へのレポーター遺伝子アッセイの適用  国末 達也（愛媛大学沿岸環境科学研究センター 教授）	
講演 3.	14:45～15:25
非意図的に副生成する臭素系ダイオキシン類の包括的なリスク管理へのレポーター遺伝子アッセイ法の適用  鈴木 剛（国立研究開発法人国立環境研究所 主任研究員）	
休憩	15:25～15:30
講演.4	15:30～16:05
核内受容体活性を指標とした化学物質の毒性影響評価  小島 弘幸（北海道立衛生研究所生活科学部 部長）	
講演 5.	16:05～16:25
レポーター遺伝子アッセイの国際標準化  中村 昌文（株式会社日吉 技術部分析研究課 ダイオキシン係長）	



## 参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (03-3268-5592)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 ([kem.basj@kyoto-kem.com](mailto:kem.basj@kyoto-kem.com))

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会 第23回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

交流会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

\*参加費は当日受付でお支払い下さい